

事務事業名		市誌編さん事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		歴史研究所		H28係等名		総務係		H27係等名		総務係		
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり								
		施策	61	地域資源の発見・資産化								
目的	対象(誰・何を)	市民								指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	飯田・下伊那の歴史を理解								飯田市の人口(人) (H27.10.1推計人口)		101743
	向上させたい上位施策の成果指標	活用できる状態が整った地域資産の数										
目標	種別	指標名及び単位					27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	一般向け図書の配布販売数(単年度)『飯田・上飯田の歴史』『みるよむまなぶ…』『いとなむはたらく…』『満州移民』『森本家』『満州紀行』『近世史料編』等					900	1169	600	-	ジュニアライブラリー3、オーラルヒストリー2を刊行した場合	
	成果指標	子ども向け図書の配布販売数(単年度)『水引のまち飯田』『飯田・下伊那の災害』(仮称)等					250	258	80	-	ジュニアライブラリー3、オーラルヒストリー2を刊行した場合	
定性目標												
事業概要	<p>1 リニア時代の到来を見据え、当地域の個性や地域アイデンティティーを形成する地域資源を資産化し継承</p> <p>2 地域の歴史が消え、または大きく姿を変えてしまう事態にあり、そのような場合にも、確かですっきりした過去を見つめ直すことができるものとして、刊行事業を継続</p> <p>3 自分たちの地域を知り、地域を大切に思う心の醸成を目的に、本の刊行で終わらない多面的で永続的な調査・研究の集約の場として位置づけ、地域史料集『飯田・下伊那史料叢書』と単位地域史叙述の二つを柱とする出版に取り組み、地域の歴史を深める活動として継続</p> <p>? 『飯田・下伊那史料叢書』 ①基礎史料(「地域史料」に包摂できないもの) ②地域史料</p> <p>? 単位地域史叙述 ①単位地域の全体史 ②テーマ史 ③飯田市一帯の概説書</p>											
	事業内容											
27年度事業内容	<p>かけがえのない飯田の歴史を継承し、市民への還元を図るために、多面的で永続的な編さん事業として、地域から要望の多い出版物を刊行する。</p> <p>1 『飯田・上飯田の歴史』下巻の増刷</p> <p>2 『ジュニアライブラリー3 飯田・下伊那の災害』の刊行 当地域の自然条件と、これまでに経験してきた災害に対して先人たちがどう対応してきたかを、親子で学びながら、次世代の担い手である子どもたちに伝える。</p> <p>3 『オーラルヒストリー2 戦争と養蚕の時代をかたる』の刊行 蚕糸業・社会教育・戦争経験のオーラルヒストリー集</p>					<p>名称</p> <p>1 出版部数 2 出版部数 3 出版部数</p>			<p>活動指標</p> <p>1 500部 2 878部 3 515部</p>			
	事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
	事業費計(千円)①		663	5,272	4,694	1,614	[27特定財源] その他: 出版物売却代 493千円					
	国庫支出金						[28特定財源] その他: 出版物売却代 600千円					
県支出金												
起債												
その他		663	600	493	600							
一般財源		0	4,672	4,201	1,014							
人件費計(千円)②		5,722		6,437								
正規職員所要時間		1,600		1,800								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		6,385	5,272	11,131	1,614							
事業内容・目標達成状況の振り返り		『飯田・上飯田の歴史』下巻を刊行した。単位地域史で包摂できない広範な事実を知るうえで基礎資料編となり、市民による歴史研究や学習に役立つものである。市民への普及のため、『飯田・上飯田の歴史』関連の出席講座を開催し、市民の自己学習の展開につなげた。										
改革改善の考え方	①問題点	『飯田・上飯田の歴史』を刊行したことで、市誌編さん事業が終了する印象がある。										
	②改革提案	<p>・刊行物の継続的な出版と教育事業を通じて広く市民に還元することにより、地域の歴史に対する関心をより高める。</p> <p>・当地の歴史を次世代の担い手である子どもたちに伝えるため、小中学生・高校生向けのジュニアライブラリー3『飯田・下伊那の災害』を刊行</p>										